

和痛・無痛分娩

和痛・無痛分娩とは

下半身に麻酔をかけ(硬膜外麻酔)、陣痛を和らげて分娩まで経過をみる分娩のことをいいます。方法として陣痛が一番ピークに達してくる時期に腰から注射をして和らげるものと、陣痛がついてきたときに腰からチューブを入れ、状況を見て麻酔をしていくものがあります。当院の場合は、計画分娩となるため、前日に入院をします。翌朝、腰からチューブを入れ、麻酔を使用していきます。陣痛促進剤を使用して陣痛を強くしていきますが、持続の麻酔ではないため、陣痛の痛みが強くなってきたときに麻酔を追加していきます。

和痛・無痛分娩をするには

妊婦健診の際、医師に和痛・無痛分娩希望ということをお申し出ください。助産師外来で方法を説明させていただきます。

和痛・無痛分娩時の注意事項

- * 麻酔の効き目は個人差があります。
- * 和痛・無痛分娩時は十分に産婦や児の状況を見させていただきますが急変する可能性もあります。そのため夜間・休日は和痛・無痛分娩をお断りさせていただいています。
- * 麻酔の副作用で頭痛や血圧の低下、吐き気が出る場合があります。
- * 和痛・無痛分娩は通常の分娩に比べ、出産費が高くなります。
- * 分娩後の初回歩行は、麻酔がしっかりと覚めてからになりますので、8時間ほどたってからになります。

